

チャリティコンサート

～想いを音符にかえて～ (12052A)

くろき つくこ
黒木 嗣子 (医学群 医学類 3年)



「音楽で国際協力活動を」というコンセプトのオーケストラを結成しました。チャリティコンサートを開催するための団体として、「オーケストラつむぐ」という名前で活動しています。

私は、大学に入る前から国際協力に興味はありながらも、実際に自分が現地に行くなどの本格的な支援活動に関わろうというまでの気持ちになれませんでした。なぜなら、私にはずっと続けたいと思ってる趣味があるからで、それを中断させたくなかったからです。それがオーケストラでした。オーケストラの魅力は、一緒に音楽を作りあげ的过程中で人と人が音を通してつながるところにあると思っています。そこで、大好きな音楽を通して誰かのためになる活動ができればと思い、国際協力のためのオーケストラをつくってチャリティコンサートを開催しようと考えました。

心の中でずっとやりたいなあと思っていた企画を実現させるために腰を上げたのが2012年2月。最初は仲の良い友達に協力をお願いし、続いて興味のあるような人を誘い、共感してくださる方に出会い、たくさんの方々と巻き込みました。とは言っても、実は、T-ACTを最初に訪れたときには、メンバーはまだ20名程度しか集まっていませんでした。オーケストラとしては全然人が足らず、とてもコンサートを開催できるような状況ではありません。そんな中ではありましたが、T-ACTで大久保先生に会って話をしたことも含め、協力してほしい方に説明するときには自分が何をやりたいか言葉にするだけで、企画が現実近くに近づいたような気持ちになりました。

こうして人集めに本腰を入れたのが2012年10月。筑波大学医学部フィルハーモニーのメンバーや、学群の友達、高校の友達、友達の友達、twitterやHPを見て連絡くださった方、いろいろなつながりからメンバーが集まりました。

そして、段々と企画が実現に向かう嬉しさと同時に、私にはもう一つ、嬉しいことがありました。それは、私と同じように「音楽で国際協力をしたい」という考えを持つ同年代の人と出会えたことです。「私もこういうことをしたいと思っていた」と言ってもら



演奏会のプログラムは「春」(ヴィヴァルディ)、「ツイゴイネルワイゼン」(サラサーテ)、交響曲第7番(ベートーヴェン)でした。

えることが、この企画をやり遂げようという新たなモチベーションになりました。

コンサートの収益は国際NGOプラン・ジャパンの『カンボジアにおける安全な水の供給プロジェクト』に寄付します。寄付をすることが一番の活動目的ではありませんが、それだけでなく、「クラシックが好きだから」「友達が出演しているから」という理由でコンサートにきた人には国際協力に興味を持つきっかけとなり、逆に国際協力に関心があってコンサートに来た人には音楽の良さを伝えるという、双方から人の興味を広げる活動をしたと目論んでいました。支援分野として水を選んだのも、このように初めて国際協力に興味を持つ人でも、必要性を感じやすく、国際協力活動を知る糸口となると考えたからです。

加えて、本番当日には、開演前にプラン・ジャパンの下部学生組織である「G-School」の方に舞台上で話していただいたり、ロビーにおいて協力団体のブースを設けたりすることで、国際協力活動の紹介もしました。このように国際協力活動の啓発をコンサートで行うことが「オーケストラつむぐ」の今回の演奏会の特色となりました。

この半年間、企画を実現させることの難しさとやりがいを実感し続けました。うまくいかないことも多くありましたが、周りのみんなと一緒にだったからこそ企画をやり遂げることができました。これからも活動を続けていきます！目標は、国際協力活動に金銭的な継続支援をする団体となり、この活動が国際協力の一環を担えるようになることです。「オーケストラつむぐ」は3月23日、その第一歩を踏み出しました。

メンバーを募集しています♪演奏はしない運営のみのメンバーも募集しています！話だけ聞いてみたいという方も、ご連絡ください。

また、他の団体と連携をとって活動をしています。相互に宣伝や活動紹介をしてくださる団体の方もぜひご連絡ください！

Mail : tsumugu.orche@gmail.com (代表 : 黒木)

HP : <http://charityorchestra.jimdo.com/>

Twitter : @chari_oke



70名のメンバーが集まり、演奏会には534名のお客様にご来場いただきました。ありがとうございました！！